

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 9月 30日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100850		
法人名	有限会社サカコーポレーション		
事業所名	グループホーム ガーデンの家 落合南		
所在地	〒739-1732 広島県広島市安佐北区落合南9丁目5-20 (電話) (082) -843-4165		
自己評価作成日	令和2年9月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100850-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年9月25日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域とのつながりを大切にしています。本人様のできる事・したい事を継続できるよう『役割作り』に取り組んでいます。入居者様同士もお互いできないところを助け合いながら生活しています。オープン当初から関わりを持たせてもらっている高陽東高校とのつながりを大切に地域に開かれた事業所づくりを行っています。コロナウイルスで閉鎖的になっていますが、インスタやブログによるSNSの利用で施設内の様子を発信しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の特徴的な取り組みとして第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」「運営に関する利用者、家族等意見の反映」に深化が見られる。即ち事業所は「気軽に訪問できる事業所作り」を大事にするも現在はコロナ禍による面会制限下であり、家族の要望によりズームを活用したオンライン面会を導入し安心された経緯がある。第二に「運営推進会議を活かした取り組み」「事業所と地域とのつきあい」等に深化が見られる。即ち運営推進会議の参加者から出された「買い物外出が困難になった」の声に対し地域の大型店舗を介して事業所の駐車場に移動スーパーを誘致した経緯がある。第三に「理念の共有と実践」に深化が見られる。即ち事業所は地域密着事業の運営理念に基づいて「地域・在宅介護の限界点をあげるために切れ目のない医療・介護サービス」で「生活を支える社会資源」として受け入れ体制強化のため意見の出やすい職場作りに尽力している。

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。	法人の経営理念、地域密着事業の運営理念を事業所理念とし、事業所の年間取組み目標の策定と半期毎の検証を行っている。その理念を朝礼や内部研修時に唱和してケアを実践する上での原点としている。又、理念を踏まえ職員個人も半期目標を設定し、半期毎の個人面談で理念の達成度を振り返り実践に繋げるべく気づきを促している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域交流行事やボランティア来園時には地域の方にもお声をかけ参加を促している。日常的な交流では、高陽東高校の3年生と交流の機会を月に1回設け取り組んでいる。『健康体操教室』では地域の方が来られた際に一緒に体操を行っている。	現在はコロナ禍による外出自粛中だが、本来は日頃から近隣へ散歩・買い物等に出かけ、町内会にも加入してとんど祭り等の地域行事に参加している。事業所での周年祭・介護予防体操教室等へ地域住民の参加や音楽ボランティアを受入れる等、相互交流もある。又、福祉授業を通じた地域高校生との世代間交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域交流室を開放した催し物に地域の方、利用者様も参加し、交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員(施設内の職員)に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。	直近の会議はコロナ禍による自粛で書面による事前照会となったが、本来は定期的開催され、家族代表・自治会長・民生委員・地域包括支援センター職員が毎回参加している。会議では事業所の活動報告・意見交換が行われ、参加者の買い物外出困難の声に対して事業所の駐車場に移動スーパーを誘致した経緯がある。	会議は併設の小規模多機能事業所との合同開催であり、参加者の意見も運営にはほぼ反映されているが、家族の参加は少なく活発な意見交換の場とは言い難い。参加してない家族との「事業所運営に関する情報」共有に不十分な面があり、家族の参加促進や議事録の送付案等、会議活性化に向けた取組みを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が毎回参加し情報共有をしている。市町担当者とは日頃から制度上の相談や報告を行い、運営推進会議の開催報告書の提出や行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図っている。又、多職種連携会議にも参加して地域連携作りに協力している。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修等も行い拘束を行っていない。3ヶ月に1回の拘束委員会の実施と情報発信を行っている 防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのものと一緒に外に出ている。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。玄関はオートロック対応で見守りをしたり、夜間のみ床センサーマットやベッド下にマットを設置している。三ヶ月ごとに拘束委員会を開催して事例検討を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修等で虐待やグレーゾーンについて学び、職員間でも機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い運営に反映できるように心がけている。	利用者の意見は日々の会話の中で、又、家族とは面会・介護計画見直し時・電話連絡時・運営推進会議等を介して管理者や職員が把握し、迅速な対応に努めている。新型コロナウイルスの影響で利用者との面会制限がある中、家族の要望によりズームを活用したオンライン面会を導入している。	利用者の意見は、その都度「チーム・ミーティング次第」に記録し共有している。ただ家族の意見については即応体制はあるが、毎月のチーム・ミーティングにて集約・共有する形となっており、思いの表出時と会議での共有時で内容・感情等に齟齬が生じ易い。遺漏のない共有方法での可視化を期待したい。

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。	毎日の申し送り、毎月の職員会議・各種委員会、管理者との年2回又は随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や個人目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案で利用者の性格等の捉え方の違いによりケアの質が低下しないように職員の介護観の振り返りをした経緯がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時より本人様にしっかり生活歴や要望を聞き、本人様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒にしたりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に本人様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている方もいるが、全利用者様に対してというところではできていない状況である。</p>	<p>「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしている。現在はコロナ禍による面会制限下、家族等の面会もある。家族の協力も得ながら馴染みの美容院・墓参り・孫の結婚式への参列等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様にしている。電話や年賀状等のやり取りも日常的である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。	利用者の習慣や好み等の基本情報を基に、その後はその方に深く関わりをもつことで思いを汲み取り、家族情報も参考にしつつチーム・ミーティング次第等で共有している。情報源としてメモリアルブック(生活記念誌)を再開中である。他者との関わりを持ちたい利用者の思いに対し、好きな麻雀の立案例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりのメモリアルブックの作成に取組みを考えており、本人様、家族様から聞き取った生活歴を一冊の本にまとめ、ケアに取り組んでいこうとしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っているが、話し合いの機会が遅くなったりしている時もある。</p>	<p>利用者毎の担当職員と計画作成担当者が情報を集約し、面会時等の担当者会議で原案を検討して家族の同意の下、本案としている。毎月モニタリングを集約し、必要時に計画を見直している。美味しい物を食べたいという利用者の思いに対し、強みを活かしてうどん作りに挑戦され、役割作りに繋がった例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度の状況に応じて、本人様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>諸木の公民館は活用できているが、まだまだ社会資源の把握まではできていない。散歩や体操教室に参加し近隣の方や地域を知るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。</p>	<p>全利用者は元の主治医に継続受診となっているが、隔週毎に往診の方もいる。定期受診は家族による通院介助を基本とし、情報提供シートにて連携を図っている。協力医も内科・皮膚科等、多科に亘り、週1回の系列訪問看護師の来訪による健康管理や協力歯科医の往診もあり、安心して医療が受けられる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っているが、事が起きてからの話し合いになっている。まだ終末期、看取りの事例はない。	要望があれば看取りを行なう方針である。利用契約時に「重度化した場合の対応指針」にて説明し了解を得ている。看取りを検討中の事例もあるが、重度化した際には本人・家族・主治医等関係者で話し合い、できる範囲で適切な支援を行う考えである。系列訪問看護師による看取りの研修も実施した経緯がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練(日中・夜間)地域の協力体制は運営推進会議を通じて行っているが、まだまだ不十分である。	消防署の立会いの下、年2回の避難訓練を夜間想定・利用者参加を含め実施している。ハザードマップでは非該当地域だが、運営推進会議でも災害時の一般的な協力要請や事業所を緊急避難施設として利用可能な旨を発信し地域との協力体制を築いている。災害時の備蓄整備等、近隣系列事業所と連携強化を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。	研修で職員の幅広い知識習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮して関わり利用者に対する声掛けも不適切な対応には指導を行い、気づく事の重要性や望ましい対応を意識できる様努めている。朝礼時に月間誌を読み合わせて日頃の言動を振り返り、来月から言葉遣いの適正化等の業務改善に取り組む方針である。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、職員側の都合になっている部分もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけだけではなく、好みやリクエストについては皆で一緒に作る機会を設けている。	外部委託で予め調理された副食が届く。主食や味噌汁は職員が作り、利用者にはその食材の買い出し・野菜切り等、できる協力をして頂く。手打ちうどん作り等の料理レクでは共に食事の雰囲気作りを楽しんだり強みを発揮する機会にもなっている。コロナ禍による自粛前は外食ツアーや個別外食支援も行っていた。	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところから始まり、トイレできるように声掛けを行っている。</p>	<p>排泄記録表で排泄パターンを把握してトイレ誘導を基本としている。退院時の紙おむつから紙・布パンツへの移行や尿量に合ったパンツ・パットの導入や尿路感染症対策等、状態に合わせた排泄の自立支援を行っている。跳ね上げ式の前方手すりや夜間排泄時の転倒防止の為、床センサーマット設置等の環境整備もある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁画貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>	<p>週2回の入浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。系列施設のリハビリ専門職による入浴指導の人的支援や半埋め込み式家庭浴槽で浴槽に移乗し易い入浴台・浴槽台等の環境整備の他、壁には銭湯風に富士山を描き、冬至の柚子湯やバラ湯・生姜湯等も実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状況に応じて休んでいただいている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、薬のセットや配薬や内服の確認をダブルチェックで行っている。臨時薬や薬の変更時には記録に残し、症状の変化に気を付けている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っている。趣味をいかしての交流を行っているが、全員行えているかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日常的な散歩や買物、ゴミだし等の季節的な外出の機会を設けている。家族様にも協力して頂き、本人様の行きたいところに行けるように支援している	コロナ禍による自粛前は散歩・買い物やとんど祭り等の地域行事にも出かけていた。花見・高校体育祭等の季節行事へ参加して「非日常」を楽しんだり、家族の協力も得ながら美容院・墓参り等で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しむこともある。県北の自宅再訪のドライブ等、個別的な外出支援にも取り組んでいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	少ない額ではあるが本人様の気持ちに答え、現金を持っている方もおられる。又、立替という形で、本人様が好きなものが買えるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(こぼれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にになって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>	<p>季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とするちぎり絵等の壁掛け作品で季節の移ろいを感じられるよう工夫している。施設特有の臭いは消し、調理の匂いで食へ誘っている。物品配置に注意して避難経路の確保や転倒防止に努めている。又、今般の感染症対策で来訪者・職員等の消毒・マスク着用や換気等に万全を期している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づける様に工夫している。</p>	<p>居室にはベッド・洗面台等が備え付けられ、テーブル・ソファ他、使い慣れた物や盆栽等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。換気や掃除を行い、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレや床センサーマットを設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(こぼれび) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	朝礼時に理念の唱和を行い、施設内研修等でも理念の唱和を行い共有できている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域交流行事やボランティア来園時には地域の方にもお声をかけ参加を促している。日常的な交流では、高陽東高校の3年生と交流の機会を月に1回設け取り組んでいる。『健康体操教室』では地域の方が来られた際に一緒になって体操を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域交流室を開放した催し物に地域の方、利用者様も参加し、交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	町内会長、老人会の会長、民生委員、地域包括、家族、地域連携委員（施設内の職員）に参加して頂き、取組みの説明を行い、助言等を頂いている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	制度上の不明点の確認等は積極的に行い、地域包括の職員とも協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修等も行い拘束を行っていない。3ヶ月に1回の拘束委員会の実施と情報発信を行っている</p> <p>防犯上の管理から玄関は電子ロックをかけているが、入居者様の思いにはしっかりとお答えし、職員付添いのもと一緒に外に出ている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修等で虐待やグレーゾーンについて学び、職員間でも機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修等で学ぶ機会を設けており、必要時は関係者と話し合いを行うようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、管理者と計画作成担当が行い、極力2人で対応をし理解して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や電話連絡時に意見を伺い、フロア内で話し合いを行い運営に反映できるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングや個人面談等を活用し職員の意見を、運営に反映できるように努めている。又会社が資格取得に力を入れており、バックアップ体制も行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の取組みや実績などを報告する場を設けている。代表者も事業所を見て回り職員に声掛けを行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりが望む外部研修に行けるように配慮している。又、内部の研修会に参加し、知識や技術の向上に努めている。○J T研修も始まり、以前になかったキャリアパスが導入される。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	安佐北区のケアマネ会に計画作成が参加し勉強や他ケアマネとの交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居時より本人様にしっかり生活歴や要望を聞き、本人様と職員との信頼関係を作っている。又、他の方ともつながりが持てるように間に入り関わるを持たせてもらっている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>各入居者様に担当を作り、担当が中心となって家族の不安に答えるようにしている。面会時にも積極的に関わりを持ち関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の小さな訴えや要望にもしっかりと耳を傾け必要なサービスを計画作成担当が検討するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家庭的な雰囲気の中での生活を意識し、洗濯、調理、掃除などの家事を一緒にしたりしている。入居者様同士の助けいながら生活を送っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様と情報共有を行い、面会などを通じて一緒に本人様を支援していく関係作りをおこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人や家族様に話を伺いながら、関係が途切れないようにはできている方もいるが、全利用者様に対してというところではできていない状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	レクリエーションや一人ひとりの趣味を通じてお互いが支え合う関係を作っている。日ごろから職員が間に入り、コミュニケーションが取れる支援を行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	退去後もケアマネにその後の状況の確認や同事業所に入居されている方には実際に顔を見に行ったりとしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	本人の希望や意向は、日ごろから伺い実施できるように検討している。職員の都合になっているところがあるので、その都度本人主体になるように努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	フェイスシートを定期的に見直しを行っていく流れを少しずつ作って行っている。その中でフェイスシートを更新していく中で新たな上表を記入していく。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	一人ひとりの表情、行動、言動の小さな変化にも気が付くように努めている。記録や申し送りを職員間で共有できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当や担当を中心にその都度話し合いを行っているが、話し合いの機会が遅くなったりしている時もある。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の記録を大切にし、小さな変化や気づきを共有するように努めているが、物事が起きてからの話し合いになっていることがある。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その都度の状況に応じて、本人様、家族様、職員で話し合い、対応を検討している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	諸木の公民館は活用できているが、まだまだ社会資源の把握まではできていない。散歩や体操教室に参加し近隣の方や地域を知るように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族様の希望のかかりつけ医を受診してもらっている。受診の際には情報提供を行い必要であれば付き添いを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	かかりつけ医との連携を取ながら、看護師がパイプ役となり、現場の情報を医師に伝えたり、医師の話を現場に伝えたりしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者や家族様と情報交換を行い、状態把握や、退院時に必要な体制等の確認を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合は、医師や家族様とも話し合いを行っているが、事が起きてからの話し合いになっている。まだ終末期、看取りの事例はない。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修やマニュアルの整備を行い、緊急時の対応をまとめたファイルも作成している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の消防訓練（日中・夜間）地域の協力体制は運営推進会議を通じて行っているが、まだまだ不十分である。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩であるという敬意を持って、接している。法人としても研修を通じて教育を図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人主体になるように心がけており、選択する機会が持てるよう、意識を持って取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調や希望を伺いながらその日その日で支援を行っているが、職員側の都合になっている部分もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装も本人様と一緒に選んだり、お化粧品をおこなったりと身だしなみにも注意を払っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	準備や片づけでなく、好みやリクエストについては皆で一緒に作る機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事水分摂取表を毎日記録し、前日に少なかった方を、朝の送りで伝え意識して取り組んでいる。飲み物等の好みも伺いながら提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食事前の口腔体操を行い、食後の口腔ケアの声掛けや確認、介助を行っている。定期的な歯科受診を勧めたり、訪問歯科にも来ていただき歯の清潔に取り組んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を確認し、本人様の排泄パターンを知るところか始まり、トイレでできるように声掛けを行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に気をつけ、体操や散歩などで身体を動かしている。薬についてもかかりつけ医と相談し、無理のないよう調整を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>曜日や時間は決めているが、入居者様の体調や希望に合わせて対応している。入浴剤や壁画貼り嗅覚や視覚も楽しめるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	消灯時間はもうけておらず、状 況に応じて休んでいただいでる。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	薬情報の差し替えを行ったり、 薬のセットや配薬や内服の確認 をダブルチェックで行っている。 臨時薬や薬の変更時には記録に 残し、症状の変化に気を付けて いる。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	小さなことでも役割として行っ ている。趣味をいかしての交流 を行っているが、全員行えてい るかという点では行えていない。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	日常的な散歩や買物、ゴミだし 等の季節的な外出の機会を設 けている。家族様にも協力して 頂き、本人様の行きたいところ に行けるように支援している。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	少ない額ではあるが本人様の気 持ちに応え、現金を持っている 方もおられる。又、立替という 形で、本人様が好きなものが 買えるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(ひだまり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人様の要望に合わせて、その都度電話を掛けたりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある飾りつけを、入居者様と一緒にやって行っている。生活感や清潔感が保てるように常に意識し配慮している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブルの席などを適宜見直し一人ひとりがくつろぎやすいように配慮している。利用者様同士が交流しやすいように職員が間に入り関わりを持たせてもらっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅にある小物、タンス等を置き居室の配置もなるべく自宅に近づけれ様に工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>家事全般を一緒に行いながら、一人ひとりができる事を継続できるように、関わりを持たせてもらっている。</p>		

V アウトカム項目(ひだまり) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家落合南

作成日 令和2年11月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	家族様の参加率と参加していない家族との情報共有	施設の取り組みや地域との連携などの共有	①運営推進会議の議事録が見える位置に設置 ②ホームページへの掲載	①1月 ②2月
2	10	情報共有の場がチームミーティングのみとなっておりタイムリーな共有が出来ていない	タイムリーな情報提供	①プチミーティングの実施 ②朝礼や申し送りを 使ってタイムリーに情報提供を行う	①12月から実施 ②11月から実施
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。